

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
部 長	森山 あづさ

＜特色と概要＞

ここ数年で進行期肺がんのみならず多臓器に対する化学療法は急速に進歩し、従来からの細胞障害性抗がん剤に加えて、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などが一般臨床でも多く用いられるようになってきた。肺がんの重要なドライバー遺伝子(=がんの発生、増殖の原因とされる遺伝子)であるEGFR、ALK、ROS1、BRAFに加えMET、RET、K-RASの解析も進み、また免疫チェックポイント阻害剤では腫瘍組織のPD-L1発現をみることで、個々の患者に効果の高い治療薬を投与することが期待されている。

しかし、新しい分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤(ICI=Immune Checkpoint inhibitors)が肺がんのみならず、乳がん、腎がん、消化器癌など多くの臓器で承認され頻用され、使用が一般化するとともに本来は稀な発生頻度として認識されていた予測困難な副作用に遭遇するようになった。倦怠感、脱力、原因不明の呼吸苦など一見不定愁訴にも思われる様々な症状が出現し、従来の抗がん剤には診られない副作用に対応することが求められるようになっていく。

がん治療自体が患者への大きな負担となる症例もある。年齢、全身状態、合併症、病状に合わせた治療選択がさらに重要となってきた。がん薬物療法専門医として積極的な抗がん剤投与とともに症状緩和を中心とする緩和医療の介入・移行も重要な課題として取り組んでいる。

緩和外来も拡充し2023年10月からは泌尿器科・射場医師、乳腺外科・森島医師も加わり、週3回院内の患者を中心に診療を開始した。

2023年11月呼吸器外科および泉南新家クリニック吉野谷清和医師の協力の下、気管支鏡検査再開、準備態勢を整えながら気管支鏡関連施設としてHP上に再登録した。

当科では適切な治療を選択できるよう、通常の診療に加えセカンドオピニオン目的の受診も可能である。火曜日午後と木曜日午前には森山、第2木曜日午前には関西医大枚方病院、呼吸器腫瘍科教授の倉田医師が外来を担当している。

肺癌と診断を受けた患者、治療中の方でセカンドオピニオン希望の患者は、主治医の先生と相談の上、当院へ予約制で受診可能。診察予約と受診前に画像と情報提供書

が必要となる。

当科では大阪府の成人病検診に参加しており、泉佐野市をはじめ泉州地区4地区の住民健診の胸部2次検診を施行し、呼吸器疾患の早期発見・早期予防に取り組んでいる。

2023年4月1日総合内科専門医取得

2023年4月1日がん薬物療法専門医 更新

＜実績＞

2023年7月11日 第3中学校

“がん教育”WEB授業

2024年1月24日 緩和PEACE研修会

2023年度として3年ぶりの院内開催

2024年度は5月26日開催予定

2024年1月24日 泉佐野泉南医師会看護専門学校

“肺癌の診断と治療”WEB授業

2023年度;

肺癌および胸部異常陰影新患者数 = 209人

緩和外来新規患者数 = 24名(入院外来新患を含む)

＜今年度の反省と来年度への抱負＞

肺がんに対する専門的治療とともに、緩和治療と並行して集学的治療に取り組んでいく

＜施設認定、関連施設＞

日本呼吸器学会関連施設

日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設(気管支鏡)